

2018 年度春学期教員アンケートの結果について

流通経済大学 FD 委員会

1、回答提出状況

全 130 名（専任：74、非常勤：55、不明：1）

2、授業における取組みと課題

（1）講義科目における主な取組みとその成果

取組みの内容	取組みの成果
グループワーク （ディスカッション）	学生の主体的な学びにつながるものではあるが、大教室の講義では実施することが難しく、また意欲の低い学生が参加していないといった課題がある
書込式プリント	学生の授業に対する集中を保つことができるが、最初からやる気のない学生には効果が薄いほか、書込みにのみに気を取られ、内容理解が追いついていない学生もいるといった課題がある
画像／映像の利用	授業中に寝てしまう学生を減らすなど、学生の集中力を高める効果があるが、映像が終わるとすぐに授業に対する興味を失ってしまう学生がいるといった課題がある。
リアクションペーパー の活用	学生の授業理解度を増す効果があることに加え、教員の授業改善にも役に立っているが、繰り返し行うことで形骸化し、提出するだけで満足する学生が増えるといった課題もある。
小テストの実施	小テストの結果を成績に反映させることで学生の学習意欲が高まり、そのことが成績にも反映されているが、初めからやる気のない学生にはあまり効果がない。
ノートチェック	ノートを取っている学生の成績が向上することに加え、学生が予習／復習といった学びの習慣を身につける上でも効果的であった。

（2）授業改善のための課題

目的	課題の内容	具体的な取組み
アクティブラーニング の実現	双方向型授業の実現	学生との対話、質疑応答
	学生の主体的授業参加の実現	ディスカッション、学生に考える時間を与える
学生に合わせた授業の 実現	学習内容（レベル）の調整	授業内容の厳選、基礎から説明
	学生が興味を持つテーマの設定	身近なテーマの設定
	身近な話題や具体例の利用	時事的な話題、最近のトピック
	個々の学生に応じた授業の実施	課題の添削、個別指導の時間の確保

3、授業アンケートに対する評価と意見

(1) アンケートに対する評価とその主な理由

	役立っている	まあ役立っている	どちらとも言えない	あまり役立っていない	まったく役立っていない
結果	30	61	27	9	3
	23%	47%	21%	7%	2%
主な理由	授業改善のきっかけとなる：25人 学生の授業評価を確認できる：31人 授業方法の問題点を確認できる：7人 学生の授業理解度を確認できる：7人 結果を他の授業と比較できる：3人		学生の回答率が低い：4人 学生がアンケートに真面目に答えていない：7人 結果の信頼性に疑問がある：14人 結果をどう理解すべきか分からない：3人 アンケート項目に問題がある：6人 アンケートが授業の改善につながっていない：4人		

(2) アンケートに対する意見

アンケートの方法について	回収率を上げるための方法を検討すべきである 授業態度（出席率）の異なる学生の回答を分けて集計して欲しい 所属学部異なる学生の回答を分けて集計して欲しい 経年の変化がわかるようにして欲しい 複数の教員が担当する授業の評価方法を工夫すべきである
manaba を利用することについて	匿名性が担保されていないため、答えづらい 回収率が下がる／manaba を見ない学生の協力が得られない ウェブ上で結果を確認できるようにして欲しい （教員アンケートについて）選択肢に「0」または「なし」を入れて欲しい
質問項目について	授業内容の改善という目的に資するような質問項目を用意すべきである 授業内容を理解できたかどうかの質問は意味がない シラバスを読んでいることを前提とした質問には意味がない どのような学習が授業外学習に該当するか具体例を示して質問すべきである 「シラバスを読んで授業を履修したか」を聞き、その結果に応じた分析をすべきである 語学授業については、どのような技能がどの程度向上したかを問う質問が必要である
アンケートの活用について	アンケート結果を有効に分析できるようにするべきである 評価の高い教員への表彰制度を検討すべきである 評価の低い教員へフィードバック方法を検討すべきである 自由記述項目の結果についても配布すべきである
結果の信頼性について	学生がアンケートに真面目に取り組んでいない場合がある アンケートに答えるだけの素質を備えていない学生もいる 回答者の情報と紐付けされたデータでなければ客観的なデータは得られない 全ての授業でアンケートを行うことにより回答がおざなりになる
その他	回答平均値レーダーチャートは、自分の授業を評価するにあたり参考になる もう少し授業アンケートに期待した方がいい

4、まとめ

教員アンケートの回収率は前年度秋学期の全 55 名より大幅に向上した。質問項目は記述式のものであったが、manaba を利用したことから、前回より提出が容易になったことに加えて、アンケートへの協力を強く呼びかけたことが要因として考えられる。

授業アンケートに関して、問題点を指摘する意見が少なくないことから、授業アンケートの実施方法や内容について改めて検討を進めていきたいと考えている。